

2

次の文章は、夏休みのある日、ミナミさんがケンタさんといっしょにおばあさんの家に行ったときの会話です。文章を読んで(1)～(5)の問いに答えなさい。答えはこの用紙の決められたらんに書きなさい。

ミナミ： 水そうの中を見て。春休みに川でとってきたメダカだよ。毎日えさをあげていないけど、水そうの中で元気に泳ぎまわっているよ。  
ケンタ： へえ。それは不思議だね。お腹がすいて元気がでないと思うけど。

(1) くみ置きの水道水で水そうの水を入れかえる場合は、毎日えさをあたえます。しかし、図1のように川でとってきたメダカをその川の水といっしょに持ち帰り、そのままの状態の水そうに入れて育てると、毎日えさをあたえる必要はありません。そのメダカはえさをときどきあたえるだけでも、水そうの中を泳ぎまわっています。このようにその川の水を水そうに入れるとメダカに毎日えさをあたえなくてもよい理由を書きなさい。

(1)

---



---

図1

著作権上の都合により、  
図を省略してあります。

ミナミ： 野菜の収穫の手伝いをしようよ。  
ケンタ： とても大きな畑だね。

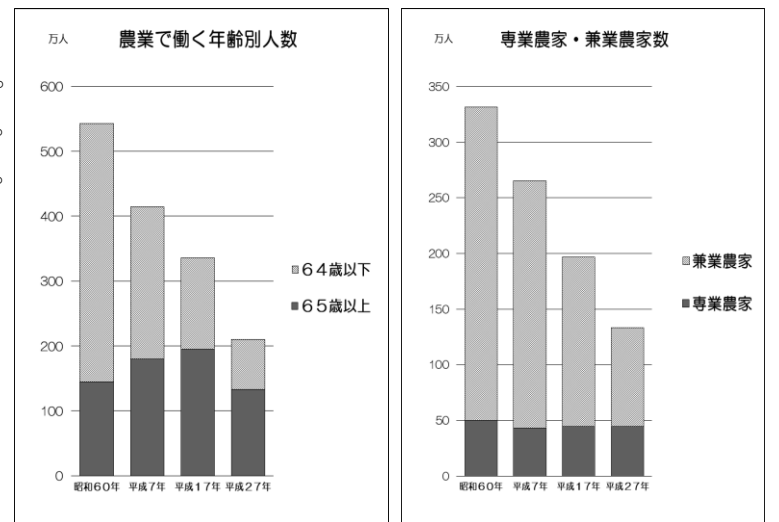
(2) 次の2つのグラフは農業で働く年齢別人数と、専業農家・兼業農家数をそれぞれ表したものである。このグラフから読み取れることをア～ウから、今後について考えられることをエ～カから、正しいものをそれぞれ1つ選びなさい。

【読み取れること】

- ア 農業で働く人数は全体的に減少しており、65歳以上の割合が大きくなっている。
- イ 農業で働く人数は全体的に減少しており、65歳以上の割合が小さくなっている。
- ウ 農業で働く人数は大きく変化しておらず、64歳以下の割合が大きくなっている。

【今後について考えられること】

- エ 農業で働く人数は増加し、専業農家も増加すると考えられる。
- オ 農業で働く人数は減少していくと考えられる。
- カ 農業で働く人数は大きく変化しないが、兼業農家が増加すると考えられる。

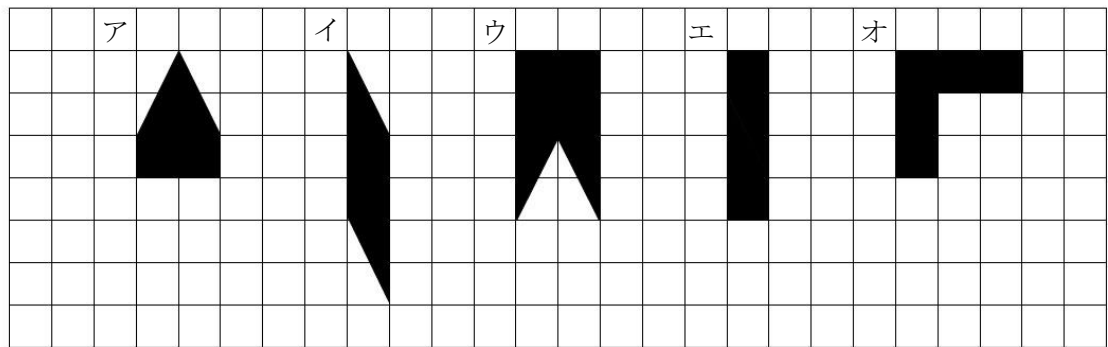
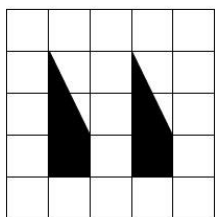


出典：農林水産省「農林業センサス」

(2) 【読み取れること】	【考えられること】
---------------	-----------

ミナミ： 畑に置いてあった竹の先を見ていたらおもしろいことを思いついたよ。

(3) 下のような2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな図形をつくります。どのような形をつくることができますか。下のア～オまでの中からすべて選んで、その記号を書きなさい。



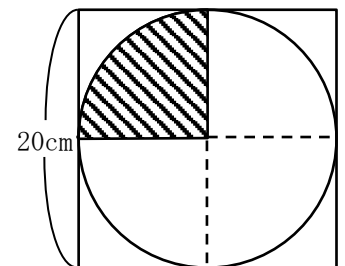
(3)

ミナミ： 収穫した野菜を使って、お昼ごはんにはピザをつくらうよ。  
ケンタ： いいアイデアだね。

(4) 1辺が20cmの正方形と、直径が20cmの円が右の図2のようにぴったりと重なっています。この図を4つに切り分けました。

切り分けてできた、おうぎの形の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。ただし、円周率は3.14とします。

図2



(4) cm<sup>2</sup>

(5) 右の図3の色をぬった部分の面積の求め方を言葉や式を使って書きなさい。また、答えも書きなさい。ただし、円周率は3.14とします。

(5) 求め方

---



---

cm<sup>2</sup>

図3

